

各地区の
デイホームを
紹介しています



デイホーム通信

No.22

デイホームは
おかげ様で
10周年

(麻生津地区社会福祉協議会)



約100人の
ズンドコ体操
の様子。

麻生津地区での自治会型デイホーム「木曜サロン」では、7月と11月の年2回、地域ごとに2班に分かれて、すかっとランド九頭竜で野外活動をしています。マイクroバス2台、大型バス1台で100人超の利用者の方が参加いただいています。

自治会長、地区社協会長の挨拶をいただいた後、協力者も加わって全員で2つの輪になって、転倒骨折予防体操のズンドコ体操を行っています。

人数が多くてなかなか一つになれず、難しい事もありますが、間違えながらも踊り終えた時の喜びは、皆さんの笑顔からうかがい知ることができます。

麻生津地区専任職員 吉川 律子

100人でズンドコ体操



(一光地区社会福祉協議会)



ふるさと運動会
の様子



第21回一光ふるさと運動会

10月10日、旧一光小・中学校体育館で約200名が集まり、ふるさと運動会と敬老会が行いました。

現在、住民数44人のうち、65歳以上の高齢者が39人と、過疎化・高齢化が進む一光地区ですが、毎年この日は、山を下りて別々に暮らす家族や、かつて一光で生活されていた方々もふるさとに戻り、一緒に運動会を楽しみました。

お年寄りも、この日は色別綱引きや年齢別リレーなど、どんどん競技に出て、ハッスルしていました。

プログラムには「ズンドコ体操」も組み込まれ、デイホーム参加者がお手本となり、家族も一緒に輪に入って、和気あいあいとした時間をすごしました。

一光地区専任職員 宮谷 朋子

